

小日向だより

ホームページ <http://www.bunkyo-tyky.ed.jp/kobidai-ps/>



表現を受け止める

副校長 佐藤 久美子

1月の展覧会、書き初め展には、たくさんの保護者の皆様においでいただき、ありがとうございました。コロナ禍にある現在の状況をご理解いただき、時間制限、人数制限のある中、皆様のご協力により、円滑にご鑑賞いただきました。感謝申し上げます。子供たちの豊かな感性や想像し、工夫した表現をお伝えすることができる機会となりました。

展覧会では、作品という形で子供たちの思いを表現しました。日頃の学校生活の中で、友達とかかわるときに多く使われる表現は「話し言葉」です。言葉をどう受け止めるのか。今年の高校サッカーで優勝したチームの選手と、世界的サッカープレイヤーのロナウド選手との6年前の交流についての報道から考えさせられることがありました。

当時、小学6年生だったその選手は、将来、ロナウド選手と一緒にサッカーをしたいという夢をポルトガル語で伝えました。ポルトガル語にフリガナを振った自作のメモを見ながらの、たどたどしいポルトガル語に、報道陣から笑いが起こりました。その笑いについて、ロナウド選手は「なぜ笑うんだい、彼のポルトガル語は素晴らしいよ。」と毅然とした態度で報道陣に伝えました。

一生懸命に話したことを滑稽に捉えてしまった悲しい場面でした。必死な姿を笑ってしまうのか、応援するかを決めるのは受け手の心次第です。もし、近くにいる人が笑ってしまっても、自分は笑わないこと、さらに、その場の空気を正しいものに変える一言を勇気をもって言うべき瞬間があることを改めて感じる報道でした。

今月の保健目標は「こころの健康について考えよう」です。校内には、あったか言葉の掲示、あいさつの声(今年度は、あいさつ週間にハイタッチをしながらの楽しい挨拶はできませんでしたが)、友達からの気遣いの言葉から元気をもらうことがあります。反対に、発した方にすれば、深くは考えずに言った言葉が相手の心を傷つけてしまうことがあります。心が元気でいられる表現を使うよさ、そして、誰かの一生懸命な言葉を正しく受け止めるよさを重ねていく毎日を、子供たちとともに楽しくしていきたいと思ひます。

お知らせ

- ◆2月13日・27日(土)は土曜授業日です。4時間授業(給食なし)です。公開はいたしません。二分の一成人式の開催方法は検討中です。
- ◆3月の保護者会とPTA総会は実施予定ですが、今後の状況によって変更になる場合があります。

2月の行事予定

全…全校朝会 体…体育朝会
音…音楽朝会 児…児童集会
ク…クラブ発表(各クラブの活動内容を紹介します。)

1	月	全		クラブ調査説明
2	火		SC	入学説明会 4時間授業(1・2年)
3	水	音		
4	木		SC	安全指導 避難訓練
5	金		SC	
6	土			
7	日			
8	月	全		
9	火		SC	囲碁教室(3年)
10	水	体		椎の木班長会 クラブ活動(3年見学)
11	木			建国記念の日
12	金		SC	椎の木班長会(5年)
13	土			土曜授業日(4時間授業) 1/2成人式(4年)
14	日			
15	月	全		
16	火	ク	SC	
17	水	児		委員会活動 4時間授業(1~4年)
18	木	ク	SC	椎の木班遊び
19	金		SC	椎の木班長会(5年)
20	土			
21	日			
22	月	全		クラブ活動(最終)
23	火			天皇誕生日
24	水	音		遠足(6年)
25	木		SC	6年生を送る会
26	金		SC	
27	土			土曜授業日(4時間授業)
28	日			

SC: スクールカウンセラー勤務日

※緊急事態宣言中はこどもひろばは中止になります。

※2月の行事予定は、現時点での予定です。変更になる場合は、お手紙やフェアキャスト等でお知らせします。

6年生を送る会に向けて

5年担任 小林 弘幸

コロナ禍の本年度、6年生が創意工夫を施しながら、委員会やクラブ、椎の木班活動などで、学校全体を引っ張ってくれました。

2月25日に、「6年生を送る会」を開催します。今年度は全校児童が集まって会を進めることができませんが、一か月後に卒業を控えた6年生に向けて、1年生から5年生が、メダルや手紙、動画などに感謝やお祝いの気持ちを込めて会をつくりあげます。

6年生が学校全体を支える仕事に関わり、しっかりと責任を果たしていることが、よい学校の条件の一つだと思います。来年度、最高学年になる5年生が、多くの下級生に憧れられる6年生になれるよう、心の準備をしっかりとさせていきたいと思っています。

二分の一成人式について

4年担任 宇野 直木

2月13日（土）4年生は二分の一成人式を行う予定です。

自分たちのこの10年間の成長を振り返るために、自分の小さい頃の様子を聞いたり、家族の思いや願いをインタビューしたりしました。

自分新聞作りを通して、今までの10年間の成長は、家族をはじめ、地域や多くの方々の支えの中で大切に育ってきたことに気付くことができました。新聞作りでは、過去を振り返るだけでなく「今の自分」を見つめなおす良い機会となっています。今、自分ができるようになっていくこと、得意なこと、好きなことは、実は小さいころからの積み重ねがあったからこそと気付くことができました。今回は、さらにこの振り返りを通して、次の成人式に向けてどのように過ごしていくか、具体的なイメージをもって生活していくことができることと思っています。

4月からは5年生、今回の活動を通して学んだことを学校生活の中に生かし、高学年としての自覚をもった活動ができるように支援していきます。

先生たちも日々学んでいます

研究推進委員会 齋藤 直大

本校には30名以上の教員がいます。経験年数や得意とする科目はもちろん、趣味・特技も違い個性豊かな先生たちです。しかし、共通して取り組んでいることがあります。それは、「小日向台町小学校の子供たちがよりよく成長できるようにすること」です。その実現には教員の指導力向上は欠かせません。そのため、指導力向上を目指し、教員が互いに学び合う場を研究推進委員会ではつくっています。

例えば、1つの授業を話し合って考える「授業研究」、授業を見て子供の姿から授業を語り合う「授業協議」、先生方の指導技術を共有し合う「OJT」等があります。

子どもたちが日々学んでいるように、小日向台町小学校の先生たちも互いに切磋琢磨し学んでいます。



2月の生活目標 『寒さに負けず体をきたえよう』

生活指導主任 原 玲子

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、休み時間には友達との距離をとりながら遊び、遊んだ後は、うがい・手洗い・消毒をするよう指導しています。学校では、子供たちができるだけ体を動かせるよう、遊び場所を分けたり遊具を消毒したりして環境づくりに努めています。寒い季節ですが、体を動かす楽しさを味わってほしいです。また、飛沫感染リスクを軽減するため、1月末より給食後うがいのみとしています。当面の間、コップのみ使用しますので、歯ブラシはご家庭で保管してください。